

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	国立障害者リハビリテーションセンター学院
設置者名	厚生労働省

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療分野			義肢装具学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年		1 1 6 単位	7 0 単位	単位	4 6 単位	単位	単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
3 0 人		2 9 人	0 人	6 人	4 8 人	5 4 人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療分野			手話通訳学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年		2 4 0 0 単位時間	6 4 0 単位時間	単位時間	3 7 0 単位時間	単位時間	1 3 9 0 単位時間
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
6 0 人		3 1 人	0 人	4 人	4 7 人	5 1 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 国立障害者リハビリテーションセンター学院学則第20条に規定するカリキュラムに基づき、毎年度シラバスを策定している。
成績評価の基準・方法

(概要) 成績評価については、国立障害者リハビリテーションセンター学院成績評価並びに進級及び卒業の認定に関する規程第 1 条から第 5 条の規程に基づき、各科目 100 点を満点とし、試験若しくは実習の成績等により、これを行うこととしている。
卒業・進級の認定基準
(概要) 進級及び卒業の認定については、国立障害者リハビリテーションセンター学院成績評価並びに進級及び卒業の認定に関する規程第 7 条の規定に基づき、所定学科目のすべてに合格した学生について、最終学年にあっては卒業を、それ以外の学年にあっては進級を認定している。
学修支援等
(概要) 各学科においては、担当教官により全学生に対し、複数回にわたる個別面談等を実施し、学生個々の状況に応じたきめ細やかな学習支援を行っている。また、学院内に学生支援室を設置し、学生からの様々な相談に応じている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
5 人 (100%)	0 人 (0%)	5 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 義肢装具製作所			
(就職指導内容) 施設・事業所見学や実習等を通じて職業指導を行っているほか、求人情報を整理して学生に提供している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 義肢装具士国家試験受験資格の取得			
(備考)（任意記載事項）			

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
2 人 (100%)	0 人 (0%)	2 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 社会福祉法人、地方自治体			
(就職指導内容) 施設・事業所見学や実習等を通じて職業指導を行っているほか、求人情報を整理して学生に提供している)			

(主な学修成果（資格・検定等）) 手話通訳技能認定試験受験資格の取得
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
53人	10人	18.9%
(中途退学の主な理由) 学生自身の進路変更、心身の不調や学生のご家族の介護のため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 補講や個別指導、再試験等を実施し、できる限り単位取得のサポートをしている。また、心理面・経済面等の支援の観点から、学生支援室において相談対応を行っている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
義肢装具学科	172,000 円	552,000 円	0 円	
手話通訳学科	0 円	408,000 円	0 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.rehab.go.jp/College/Japanese/yousei/
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) ・学院の職員とその関係者が理解を深め合うことにより、学校関係者評価（自己評価）の客観性や透明性を高めるとともに、学院のサービス向上を図る。 ・当学院において前年度末に実施した自己評価の結果を踏まえ、それぞれの立場から評価と意見交換を行い、必要に応じて諸課題の整理と対策案の検討を行う。

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
筑波大学	2024. 6. 11～2026. 3. 31	教育・医療に関する有識者
義肢製作所	2024. 6. 11～2026. 3. 31	地域の義肢装具関係者
所沢市社会福祉協議会	2024. 6. 11～2026. 3. 31	学院卒業生
東京保健医療専門職大学	2024. 6. 11～2026. 3. 31	教育・医療に関する有識者
相模女子大学	2024. 11. 7～2026. 3. 31	地域の学校関係者
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.rehab.go.jp/College/Japanese/yousei/		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.rehab.go.jp/College/Japanese/yousei/
--